



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-082号 2016年10月20日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

1000人めざし本格的拡大広がる 現在968人

訪問、懇談、宣伝、レク、全地域で奮闘

拡大 **49**人

CU東京の1000人をめざした秋の組織拡大（9月から11月）は9月17日の拡大決起集会を受けて、各支部で相談、意思統一がすすめられ、本格的な拡大が広がっています。10月20日現在、月間での拡大は9月1日以降49人です。月間も折り返し点です。各支部の経験・取り組みを紹介します。

【CU渋谷】秋の拡大は40人目標

渋谷支部は、次期定期大会まで200人の到達をめざし、年間80人、秋の拡大は40人目標です。大会時の1年間で24人増ですから、3倍を上回る目標へ挑戦です。達成にふさわしい運動をと8月28日、日本高齢者大会の大正大学で宣伝、1000枚のチラシ配布。駅頭では、9月1日、代々木、10月4日、千駄ヶ谷、10月6日、代々木と3回、のべ17人、650枚を配布、9月25日渋谷母親大会100枚、10月10日しぶや平和まつりでは、舞台上で最賃クイズや「団結マーチ～ボク



高尾山の天狗様の前で拡大奮闘を誓う
 しぶやのみなさん

たちの宣言」をうたい、500枚配布、大好評で組合加入やカンパの成果がありました。

10月2日は、拡大月間の一環として秋のレクリエーション「高尾山へGO!」を、



年金者組合葛飾支部で要請するCUかつしか野口委員長

12人が参加、老若男女それぞれのペースで頂上をめざしました。事前には、拡大対象者も参加する予定でしたが、参加できませんでした、頂上ではビールで乾杯し、秋の拡大月間での奮闘を誓い合いました。

9月からの労働相談では、5件で3人が加入。その他を含め、10月20日現在、11人の拡大成果です。

10月23日は、未組織地域宣伝にとりくみます。また、組合オルグや民主団体との懇談など具体化し、改めて対象者に組合加入をすすめ、成果の飛躍をめざします。この秋は新加入組合員への教育を実施する予定です。

【CUかつしか】東京土建葛飾支部、年金者組合、新婦人に要請

結成して4年目、結成時は13人の組合員で出発した葛飾支部です。3年間で32人、毎年10人ずつ組合員が増えてきたこととなります。地域柄もあるのか、労働相談は年に7・8件、団体交渉までいくのは年に1・2件です。加入の訴えに入れるような事業所もありません。年内に1000名達成という本部の方針を受け執行委員会で計画を具体化してきました。

準備段階から一緒にとりくんできた東京土建葛飾支部にまず要請に行くことにしました。8月16日の土建の執行委員会へ加入の協力を要請、9月23日には、本部の宮本書記次長にも葛飾に来て頂いて2度めの要請行動をしてきました。今後、個別に訴えていくことにしています。8日には年金者組合の執行委員会で訴えました。11月には新婦人の支部委員会で、CU東京への加入、協力の要請を行っていく予定です。

【中野】CU中野結成めざす！

中野地域に、CUの支部の結成が望まれています。この秋の拡大月間のなかで各地で新しい広がりが見つられています。中野地域では東京土建中野支部の協力で、10月7日の執行委員会に本部の宮本書記次長が説明と訴えの機会を得ました。個人加盟の地域労組が今、求められていること、CUの必要性を説明しました。10月11日には共産党中野地区委員会の亀井地区委員長と懇談し、資料の配布と今後の協力を話し合いました。現在、準備会にむけて3人が組合に加入しました。

**★準備会に協力を語る
中村文康さん**

このたび、「CU東京を中野で立ち上げてほしい」との要請を宮本さんから受けました。まだ加入もしてなかったもので、まずは自ら



が加入し、「CU中野準備会」という形で活動し

たいと思います。私は土地家屋調査の仕事で一人で請け負っており、個人事業主です。加入資格があるようですし、またCU東京が千人組織へ秒読みという局面だとお聞きしまして、その事業に関わる事ができるのは光栄です。微力ですが宜しくお願いします。

【CU練馬】東京土建練馬支部と懇談

10月3日、CU練馬支部の根岸さんと本部の高嶋副委員長、高木書記長で東京土建練馬支部を訪ねました。会館の階段から事務室のある2階にかけ、各分会の秋の組織拡大のスローガンと到達で埋められ、東京土建は組織拡大真っ盛りの様子うかがえました。そんな中、時間をとっていただき、桑原書記長と懇談することができました。練馬区内の労働組合の状況、個人加盟の地域労組が求められていることなど懇談、ひきつづき協力を要請しました。この懇談の中で、2人が加入、ご協力をいただきました。

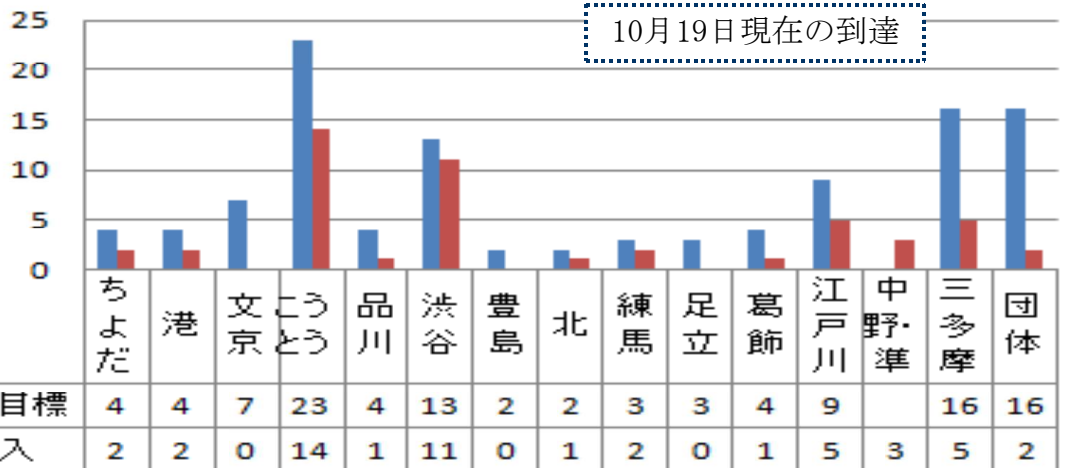
**CU東京1000人達成
「記念集会」**

**■12月10日(土)
■ラパスホール**

1000人達成の「記念集会」を開催します。各支部からの参加をお願いします。大勢の参加でお祝いしましょう。午後2時開会予定で準備します。

1000人目指す秋の組織拡大

目標と拡大数



CU品川を広げよう

CU品川第7回大会開く



CUの社会的役割学び

9月25日の日曜日、11時からCU品川支部、第7回大会を品川労協会議室で開催し、13名が参加しました。

船津委員長の挨拶の後、来賓には、日本共産党白石都議が、「ブラック企業をなくす為頑張る。豊洲の問題も議会で追及したい」と調査の体験を交えて挨拶しました。CU東京の平山副委員長から20分にもわたりCUの社会的役割を学び、組織を増やす事についても、組合員はうなずいていました。その後、佐藤書記長から、労働相談の主な取り組みや、10.23に三崎半島まぐろめぐりレク、学習会など経過、方針、会計報告、予算が一括提案され、質疑、まとめの後、承認されました。

黒毛和牛、和豚に美味しくて、うなり声

大会終了後の12時半から、バーベキュー交流会が行われ、肉卸会社の組合員から提供された美味しい和牛・和豚・ソーセージや寿司、刺身に舌鼓を打ちながら、各組合員から自己紹介、近況が語られました。長野の飯綱から夜行バスで参加した女性組合員から、ヤバイ会社から助けてもらった経験や、元品川労連議長や元品川労協議長からも地域への思いが話されました。なか締めしても、皆帰らず、タクシーで帰る人もいました。役員は、船津執行委員長、佐藤書記長、南執行委員、野中執行委員で、若い労働者を早く拡大して、補充することも決めました。

地域ユニオン学習会交流会

11月26日(土) 13時 ラパスホール

講演 寺間誠治氏

「地域ユニオンの役割と発展の可能性」

報告 CUしぶや・新宿一般 ※終了後懇談

228人の現勢で大会開く

地域労組こうとう第8回大会開く



政治と暮らしは結びついている

地域労組こうとうは、9月24日(土)午後4時から西大島の総合区民センターで第8回定期大会を28人の現勢で開きました。冒頭挨拶にたった新野委員長は「昨年の大会以降経済状態は良くなり、政府が進める1億総活躍社会も質が伴っていない」と指摘、「安倍内閣の暴走を止めるため、暮らしと政治が密接に結びついていることを押さえ1年間の活動を振り返り、方針を確立しよう」と呼びかけました。

来賓としてCU東京・高木書記長、東京東部法律事務所・鹿島弁護士、日本共産党・正保区議会議員の三氏が登壇。高木書記長は「CU東京の組合員1000人達成のためにこうとうの奮闘に期待」、鹿島弁護士は「地域労組こうとうの二つの事件の裁判(ヒューレットパカード、ナカジマトークン)に勝利し、全国の労働者の権利を守ろう」、正保区議会議員は「区議団も全員地域労組こうとうに加入した。一緒に働く人の権利を守るために頑張ろう」と挨拶。

パワハラのたたかい勝利に拍手

大会は続いて1年間の活動報告と財政報告、JAL争議団・細井さん、ヒューレットパカードと解雇無効を闘う青木さんの挨拶を受けた後、向こう1年間の活動方針と予算を提案。討論では、パワハラと闘い勝利の和解を勝ち取った一橋さんが発言、大きな拍手が起こりました。この後、方針・予算・新年度役員を選出、新野委員長の音頭で組合員拡大の決意をこめ団結ガンバローで終了。17時から恒例の懇親会、テーブルごとに交流、全体で近況を報告、和やかなひとときを過ごし、散会しました。

第45回社保学校開催される

10月16日（日） けんせつプラザ東京
130人が参加し学び、活動交流

参議院・都知事選のたたかいに確信を



講演する渡辺治名誉教授

東京社保協主催第45回社保学校が開かれ136人が参加しました。講演は渡辺治名誉教授の「参議院選挙・東京都知事選挙の結果と今後の運」と題し、戦争法廃止の共同のたたかいの前進の意義、参議院選の1人区で11議席を獲得した意義を資料を示して説明、参加者に展望を示しました。今後、さらに共同のたたかいの広がりが求められていること、社保協への期待を述べました。午後、竹崎会長が医療現場から、地域医療の現状を報告しました。

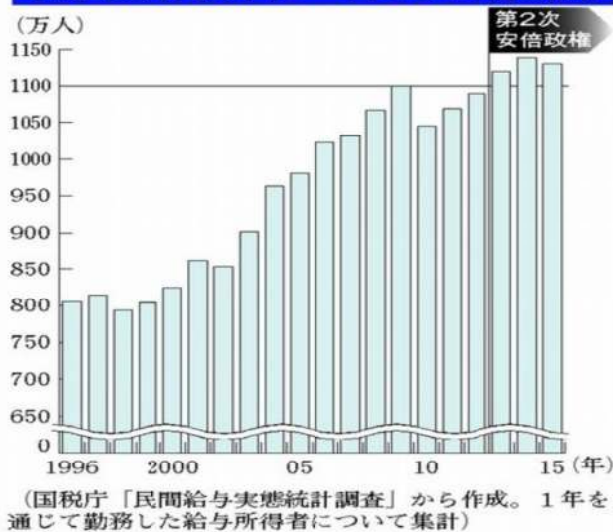
なんでも相談会に深刻な労働相談

5人の特別報告は相談活動について。労働相談の例では、北区の王子駅前三角公園でのなんでも相談会に、60代派遣労働者が浅草のカプセルホテルに4年、肉体労働に耐えきれず、相談会のチラシをずっと持っていて相談、産業医も常駐する企業なのに無保険の労働者のこと。渋谷では接骨院に勤務する30代男性、「正規職員だが社保加入なし、有給なし、休むと賃金が差し引かれる」と劣悪な条件の改善の相談、五十嵐区議が対応し、一人でも入れる労働組合を紹介、改善ができると助言したことなど報告がされました。高木書記長、宮本書記次長が参加しました。

働く貧困層（ワーキングプア）が急増！ 3年連続で1100万人超え 第2次安倍政権発足以降、貧困層急増！

国税庁が9月28日発表、2015年分の民間給与実態統計調査。年収が200万円以下のワーキングプア（働く貧困層）は1130人と3年連続で1100万人を超えました。第2次安倍政権が発足した12年末以降、貧困層が急増。賃金が低い非正規雇用の増加が貧困層の増加に拍車。正規労働者が前年比7万2千円増の485万円、非正規雇用は171万円と同8千円増にとどまり、正規と非正規の格差は拡大しました。

年収200万円以下（ワーキングプア）層の推移



三多摩の木口さん三陸を快走！

9月24・25日と第5回ツールドル三陸in陸前高田・大船渡に参加。環境に優しい自動車で被災地を走り、現状を自らの目で見て、



地元の人との交流で復興支援に役立てようとのイベント。岩手日報に大きく報道されました。



◆「残業代ゼロ」法案は撤回を！ 政府の「働き方改革実現会議」は「長時間労働の是正」、「同一労働同一賃金」をめざすと言いながら、臨時国会の狙いの一つが「残業代ゼロ」法案の成立です。財界の要求そのもの。過労死は減るどころか増加傾向。電通の女性労働者の自殺が労災認定。東京労働局が調査に入りました。電通は過去にも過労で自殺出しています。反省していません。長時間労働が常態化。繰り返してはなりません。